

事 務 連 絡  
令和元年 11 月 8 日

各 位

社会福祉法人 仁尾福祉会  
理事長 組橋 啓輔  
( 公 印 省 略 )

### 発表について（お知らせ）

拝啓 晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当法人の運営にご理解、ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。

さて、11 月 5 日に開催されました第 19 回香川県老人福祉施設協議会研究大会にて、「介護施設だからこそできる看取り」を発表致しました。

上記ご報告するとともに、香川県老施協をはじめ、ご協力賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

又、当日の要旨を下記にご紹介致します。

## 介護施設だからこそできる看取り

社会福祉法人 仁尾福祉会  
特別養護老人ホームにお荘  
サブリーダー看護職員  
小野 恵美

運営法人 社会福祉法人仁尾福祉会

基本理念 あたりまえでごくふつうの生活をおくれるように支援します

運営施設 特別養護老人ホームにお荘（介護老人福祉施設）50 床  
特別養護老人ホームにお荘（短期入所生活介護）10 床  
地域密着型特別養護老人ホームにお荘  
（地域密着型ユニット型介護老人福祉施設）20 床  
老人デイサービスセンターにお荘 35 名定員  
老人介護支援センターにお荘

当法人は、平成 17 年に設置されました。

施設としては、平成 5 年に開設され、公設民営（仁尾町設置 仁尾町社会福祉協議会運営）という形でしたが、平成 17 年より仁尾福祉会が譲り受け運営を行っております。又、平成 29 年度地域密着型特別養護老人ホームにお荘を開設し、老人デイサービスセンターにお荘を移設しました。

### 看取りについて

平成 25 年、嘱託医の変更により本格的に看取りを開始しました。その後、数回の嘱託医の変更を重ね、現在は藤田医師のもと施設での看取りを行っており、殆どの方が当施設で人生の最期を迎えられています。

### 1、当施設の看取りに対する考え

人は必ず死を迎えます。医療の発達により、治療をして一日でも長く生きたいという時代から、自分なりに考えて自分らしく死にたい（自分らしく生きたい）という時代に変化してきています。

特に、介護施設では延命のみを目的とした病院での医療は行わず、施設で日常生活の介護を受けながら、自然にまかせた平穏死を望む傾向にあります。

私たち全職員は、最期までその人らしく生きるための看取り支援を基本とし、取り組んでいます。

## 2、事例

医師から看取り時期だと判断され、迎えた最期

医師から看取り時期だと判断される前に、迎えた最期

## 3、今後の取り組み（課題）

日常生活の延長線上に看取りがあることを意識した支援を継続する

入所から看取りまでの期間が短くなりつつある多死社会に対応できるチーム力を  
目指す